

憲法フェスティバル、今が旬・頑張りどき

地域・職場からのご奮闘を訴えます

春には憲法記念日の集い、秋には安保中心の市民集会在定着してきています。

第6回常任理事会は参加要請数を各平和委員会にお願いしました。当然、他団体の集約とダブります。要は各地域の団体の皆さんと各平和委員会が共同すればどの位参加できるかにあります。

小泉内閣が憲法改正のノロシを上げ阿部内閣がその具体化の政治日程を掲げ、国民の審判を仰ぐべく参議院選挙の争点にしましたが、国民は断固「ノー」で憲法改正の策謀を頓挫させました。しかし、彼らが決して諦めたという事でないことは明らかです。

我々の力量はまだまだ不十分です。憲法を生かし、平和と暮らしを守る確固たる保証は県民に訴える運動の強化にあります。5月3日の取り組みもその一環で、平和委員会も大きな力を発揮しなければなりません

ここ3年位の間に2~3倍の力をつけ、いつでも1000名の集会在開ける組織力を創りあげていきましょう。

私たちはすでに「見てもらう。読んでもらう。聞いてもらう。書いてもらう」という、県民への宣伝力を持っています。憲法記念日を県民の力で「憲法守れ」の最大の年中行事にしていきたいと思います。

各地で活発な取り組み 駆ける宣伝カー!!



- ・12日から県平和委員会の宣伝カー走る。初宣伝は那珂市から始まりました。続いて太田・ひたちなかを15日まで走ります。急でしたが、川又・福田亘男・人見さん等快く引き受けてくれました。16日から20日までは小美玉・石岡に入ります。
- ・鹿行ブロック：9日会議を開催。20日から1週間、鹿嶋を民商、行方を潮来市職の宣伝カーを運行。参加要請数20名は各団体でそれぞれ4~5名を受け持ち達成させる。
- ・内原・友部平和の会：11日に事務局会議。参加は友部10・内原10名で取り組む。賛同口数20口も大丈夫。29日の春のつどいを実施するので一挙にもっていききたい。
- ・やさし平和の会：あお空紙芝居「花だいこんのはなし」「憲法の話」を会場でする。参加者5名は大変だけどやり抜きたい。
- ・太田平和の会：昨年並の15名参加は大丈夫。もっと広げていきたい。18日に花見の会をやるのでそこで勢い

をつけ意志統一したい。

- ・ひたちなか平和の会：賛同口数5口は10口集めすでに収めた。参加者10名じゃダメだ。倍加目標でみんなで奮闘する。
- ・東海村平和委員会：すいとんの模擬店を出すので20名位平気（15名要請）。
- ・那珂平和委員会：「9条の会」と一緒に頑張っている。15~20名は何とかなる。
- ・土浦平和の会：5月3日の土浦集会在今年はないので水戸に集中する。20名は各団体で目標を出し合い実現していきたい。取り敢えずチラシを送ってほしい。
- ・ゆうき平和の会：昨年9条の会と一緒に10名以上で参加したので今年もその線で頑張りたい。
- ・下館平和委員会：昨年マイクロバスで10名程度参加。今年も各団体に働きかけて昨年を上回りたい。
- ・おおみや平和の会や、美和・緒川平和の会でも9条の会の方々と協力して取り組みを強化しています。

第4回理事会開催のお知らせ

と き：4月25日（土）午前10時~午後4時

と ころ：水戸市民会館中会議室

議 題：1. 県大会の諸準備について

- ・活動のまとめと運動方針
- ・次期役員体制
- ・決算及び予算 ・大会当日の準備
- ・その他

2. 憲法フェスティバルについて。

3. その他

*県大会（5/30）前の最後の理事会です。ぜひ県大会を成功させるためにご出席ください。欠席される場合は代理の方をお願いします。昼食は用意します。

憲法フェスティバル

第5回実行委員会開催

と き：4月19日（日）午後2時~5時

と ころ：水戸市民会館205・206号

内 容：参加者及び賛同についてや、当日の準備などが話し合われます。

*最後の実行委員会となりますので、特に水戸地域の平和委員会は複数参加をお願いします。また、各9条の会のみなさんも是非ご出席ください。



平和かわら版

平和新聞茨城版

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

No.530
月3回発行
2009.4.15



一億総動員の一員として

菊池 一二さん(84歳) 東海村在住

常陸太田市(元佐都村)生まれ。尋常高等小学校卒業後、日支事変後の一億総動員の掛け声の軍国主義の世情の中、国のお役に立つ志で東京赤羽陸軍被服本廠に就職。昭和17年頃臨時的な措置として急遽、制空権・制海権を失ったガダルカナルなどの日本基地からの補給、撤収に使用した麻の網を作らされた。昭和18年まで3年間、自動車の整備に従事。

徴兵検査のため地元に戻り、兵隊検査甲種合格、千葉県香取の海軍航空隊に配属、8ヶ月の自動車整備訓練を必要とするところ、直ちに試験を受け自動車検定に合格、神奈川久里浜の横須賀防備隊に配属、沿岸の警備をしていた。本土防衛のための福島県小名浜に人間魚雷の基地整備のため先遣隊(25名)として1年間くらい従事、その間、人間を武器にするこの戦争は負けると感じた。

19年に厚木基地に転属、2月4日の雪の降る日、爆撃と米軍の艦載機による機銃攻撃を受ける。横須賀には戦艦「長門」が航空母艦に改造中だった。この攻撃で横須賀市内の民家が焼失した。私たちは以前から、普通服の朝鮮人と囚人、基地内の防空施設の建設に使役されていた人たちの暴動を警戒して1ヶ所に集め、周りを着剣して警備していた。中の囚人は罪の重さにより赤バンテン、青バンテンを着せられていた。

その後、青森の三沢基地に兵長として転属。1週間の余裕を与えられ自宅に寄るため上野駅で乗車しようとしていたところ、急遽、東北本線で直行せよとの命令を受けた。後で判ったことであるが、日立の艦砲射撃を避けてであった。8月に到着して1週間目に日立の艦砲射撃の後に北上してきた米軍の爆撃を受けた。正門の近くにあった無傷の航空省の兵舎と一般の兵舎が3日間の爆撃で破壊された。その際、初めの1日で米軍艦載機の攻撃で出撃準備中の対陸攻撃機「銀河」25機と零戦も含め、全機が焼失してしまった。私たちは、8Km離れたバラックの兵舎にいたので助

かった。この基地では人間ロケット「菊花」の整備訓練を行っていた。模型は展示されていたが本体は配備されなかった。基地での暮らしは牧場跡地の広場で兵隊の送り迎えをしていた。食糧不足はなく、衛兵の手伝いをしていた。

8月15日の玉音放送は何ら召集も受けずに部隊詰所のラジオで聞いた。しかし、デマ宣伝だということでラジオは取り上げられ情報が入らなかった。8月25日に集合をかけられ、伊藤司令から無条件降伏の敗戦を告げられた。残務整理のため基地内の残っていた食料などを青森県の倉庫に移した。旅費20円と食料を貰い車で帰郷した。

「軍隊は運隊」といって、運よく無事5体満身に負傷することもなく帰ってきたが、悲惨な軍隊生活を経験して、戦争はやるべきではないと思う。憲法9条は絶対守っていきたいと考えています。(菊池さんには5.3憲法フェスティバルで詳しく語ってもらいます。)

東京平和ツアー



ふじしろ平和の会 渡辺 昭七

昨年、「取手平和のつどい」での、「東京大空襲」パネル展の見学から、東京大空襲・戦災資料センターを一度見学してみたいと思っていた。たまたま、ふじしろ平和の会で、企画に携わる機会があり、3月の桜と組み合わせれば楽しい企画になるのではと考えたものです。しかし、参加者が7人とちょっと寂しかったかな。

3月28日、太陽は顔を出すが、上空の寒波には勝てず、寒い一日でした。桜も三分咲きくらいで、花見には早かった。しかし、開花宣言は例年より早いこともあり、花見に宴会はあっちこっちで行われていました。

藤代、10時50分の電車に乗り、北千住、曳船で乗り換え、半蔵門線住吉駅下車、徒歩15分で戦災資料センターへ、駅の近くで仕入れた弁当も、寒さのため公園で食べる勇氣はなく、館員の方に頼み、何とか研究室の部屋で暖かく昼食。感謝、感謝。

昼食後は、他の団体の方と共に、ビデオ「東京大空襲」(NHK特集)を観て、さらに、資料館を1時間ほど見学。まだまだ時間が足りない。タクシーで浅草へ。仲見世通りを横目に、戦災母子像や焼けた痕が残る银杏、平和の塔を巡り、隅田川辺りの戦災記念碑で一日が終了しました。

イラク、ソマリア沖への自衛隊の派遣、北朝鮮のミサイル迎撃と憲法を踏みにじる状況が議論も無しに強行されている。戦争は、国民を、国土を、犠牲にすることはあっても、守ることはない。一瞬のうちに、全てを奪い取るもの以外の何物でもないという思いを強く感じた1日でした。寒い冬に10万人の国民が焼死した事実は、もっともっと明らかにさせるべきだ。平和の尊さを改めて思いました。

里山・春のつどいに

一緒にしませんか!



野にひばり、山にうぐいす、そして新緑の森の中、採りたての山菜の天ぷらを揚げ、「平和の事を忘れるほど平和なときはない」と楽しい歓談。

是非、他の平和委員会のみなさんもお参加ください。
4月29日(水・祝)午前9時、内原町中央公民館集合。
ところは、旧七会村、山びこの郷キャンプ場
途中、山菜取りをしながら行きます。

参加費：大人1人・1000円。

主催：内原・友部平和の会 連絡先：川井 光さん
0296-78-3365

事務局便り

雑誌「常陽藝文」の4月号に、戦争末期に北茨城市の浜辺から放流された風船爆弾の特集が。手に取ってページをめくっていると、郷土の歌人「長塚節」展が常陽資料館でやっているという。以前買った奈良達雄さんの本に名前があつた人だ。この前もどこかで見かけたばかりだ。どんな人だったのだろうか？実はまだちゃんと読んでいない。早速読みにかかろうと思います。(抜)